宇部市交通事業業務状況報告書

令和3年度下期分

令和3年10月 1日から

令和4年 3月31日まで

1 事業の概況

(1)業務に関する事項

イ 走行キロ

(令和4年3月31日)

区分	3年度予算	下期分実績	執行率(%)	3年度実績	執 行 率 (%)
L 77	(A)	(B)	(B)/(A)	(C)	(C)/(A)
乗 合(千Km)	2,640	1,314	49.8	2,630	99.6
貸 切(千Km)	81	49	60.5	80	98.8
計	2,721	1,363	50.1	2,710	99.6

口 輸送人員

(令和4年3月31日)

区分	3年度予算	下期分実績	執行率(%)	3年度実績	執 行 率 (%)
	(A)	(B)	(B)/(A)	(C)	(C)/(A)
乗合(千人)	1,729	865	50.0	1,724	99.7
貸切(千人)	23	15	65.2	24	104.3
計	1,752	880	50.2	1,748	99.8

2 経理の状況 (1)予算の執行状況イ 収益的収入及び支出 収 入

<u>収</u>			3 年 度	下期分	執行率	3 年 度	執行率
款	項	目	予算額(A)	執行額(B)	(B)/(A)	3 平 及 執行額(C)	(C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
自動車事業収益			914,947	630,981	69.0	921,940	100.8
	営業収益		453,852	219,932	48.5	453,517	99.9
		旅客運送収入	443,308	214,720	48.4	442,883	99.9
		運輸雑収入	10,544	5,212	49.4	10,634	100.9
	営業外収益		461,095	410,965	89.1	468,339	101.6
		受 取 利 息及び配当金	80	81	101.3	82	102.5
		他会計補助金	252,510	240,619	95.3	240,619	95.3
		国・県補助金	147,560	138,354	93.8	168,354	114.1
		長期前受金 戻 入	5,264	2,611	49.6	5,243	99.6
		受託収益	43,365	21,379	49.3	43,146	99.5
		雑 収 入	12,316	7,921	64.3	10,895	88.5
	特別利益		0	84	_	84	_
		固定資産売 却 益	0	84	_	84	_
収 入 計			914,947	630,981	69.0	921,940	100.8

(注)消費税及び地方消費税込

支 出

支	出						
款	項	目	3 年 度 予算額(A)	下 期 分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	3 年 度 執行額(C)	執行率 (C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
自動車事業 費 用			880,044	479,417	54.5	863,287	98.1
	営業費用		864,210	465,082	53.8	848,950	98.2
		運転費	450,512	235,296	52.2	445,094	98.8
		車両修繕費	66,958	38,104	56.9	64,216	95.9
		そ の 他 修 繕 費	1,938	891	46.0	1,237	63.8
		固定資産減価償却費	58,148	29,052	50.0	58,126	100.0
		資産減耗費	4,022	4,019	99.9	4,021	100.0
		施設保険料	83	0	0.0	77	92.8
		施設使用料	335	167	49.9	333	99.4
		自動車重量税	2,311	1,161	50.2	2,273	98.4
		運輸管理費	126,080	61,755	49.0	122,406	97.1
		一般管理費	153,823	94,637	61.5	151,167	98.3
	営業外費用		14,137	13,033	92.2	13,035	92.2
		支払利息	5	3	60.0	5	100.0
		消費税及び 地方消費税	14,132	13,030	92.2	13,030	92.2
	特別損失		1,697	1,302	76.7	1,302	76.7
		固 定 資 産 売 却 損	1,697	1,302	76.7	1,302	76.7
支 出 計	√ k Trit 十 / y k 事 で		880,044	479,417	54.5	863,287	98.1

(注)消費税及び地方消費税込

ロ 資本的収入及び支出 収 入

- 以	\mathcal{N}						
款	項	目	3 年 度 予算額(A)	下 期 分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	3 年 度 執行額(C)	執行率 (C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
資本的収入			172,355	165,244	95.9	165,244	95.9
	固定資産売却代金		1,045	1,401	134.1	1,401	134.1
		固定資産売却代金	1,045	1,401	134.1	1,401	134.1
	国 · 県 補 助 金		95,914	95,488	99.6	95,488	99.6
		国•県補助金	95,914	95,488	99.6	95,488	99.6
	他 会 計 被 助 金		70,118	63,434	90.5	63,434	90.5
		他会計補助金	70,118	63,434	90.5	63,434	90.5
	工事負担金		5,278	4,921	93.2	4,921	93.2
		工事負担金	5,278	4,921	93.2	4,921	93.2
収 入 計			172,355	165,244	95.9	165,244	95.9

(注)消費税及び地方消費税込

※令和2年度繰越事業に充当する財源は、国・県補助金、他会計補助金及び工事負担金に含まれています。

	_
	111
$\overline{}$	
\sim	μ

款	項	目	3 年 度	下期分	執行率	3 年 度	執行率
		, .	予算額(A)	執行額(B)	(B)/(A)	執行額(C)	(C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
資本的支出			306,611	273,942	89.3	291,215	95.0
	建設改良費		276,610	258,941	93.6	261,214	94.4
		車 両	45,575	45,575	100.0	45,575	100.0
		工 具 器 具備 品	231,035	213,366	92.4	215,639	93.3
	企業債 還金		30,001	15,001	50.0	30,001	100.0
		建設企業債償還金	30,001	15,001	50.0	30,001	100.0
支 出 計			306,611	273,942	89.3	291,215	95.0

(注)消費税及び地方消費税込

[※]令和2年度からの繰越事業分は、工具器具備品に含まれています。

(2) 財務諸表
イ 損益計算書(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

		- 1 /\-	<u> </u>	<u> </u>	1 (14) 100	1 10/11 10/	•	<u> </u>	, , _			<u> </u>	
	科	目		金	額	構成比		科	目		金	額	構成比
					千円	%						千円	%
営	業	費	用		460,773	74.9	営	業	収	益		206,573	33.6
営	業夕	卜費	用		5,488	0.9	営	業	外収	益		408,933	66.4
特	別	損	失		1,302	0.2	特	別	利	益		76	0.0
当	期和	电利	益		148,019	24.0							
	計	+			615,582	100.0		į	計			615,582	100.0

(注)消費税及び地方消費税抜

口 貸借対照表(令和4年3月31日現在)

			1 H / '	171112	(11 J H T	1 0/101 H	/ 🖰 🖰	<u> </u>					
	科	目		金	額	構成比		科	目		金	額	構成比
					千円	%						千円	%
固	定	資	産		615,404	44.8	固	定	負	債		319,687	23.3
流	動	資	産		758,413	55.2	流	動	負	債		88,873	6.4
							繰	延	収	益		210,458	15.3
							資	Z	K	金		733,206	53.4
							剰	17.	À	金		21,593	1.6
	量	+]	1,373,817	100.0		=	+		1	,373,817	100.0

3 令和4年度予算の概要及び事業の経営方針

本市の交通事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、引き続き、厳しい財政状況となっていますが、お客さまの安全を第一優先に、安全・安心な運行を目指し、感染防止対策や事故防止対策、お客さまサービスの向上に取り組みます。

また、安定した事業運営・事業継続に向けて、令和4年3月にサービスを開始したICカードの利用を促進するとともに、ICカードによる新たな商品の企画・販売により利便性の向上を図るなど、全職員が一丸となり、「宇部市交通事業経営戦略」に基づく、経営健全化のための取組を推進して参ります。

令和 4 年度交通事業会計予算は、業務の予定量として、乗合事業については、 稼働バス台数 17,789 台、走行キロ数 2,683 千 k m、輸送人員 1,752 千人を、貸切 事業では、稼働バス台数 1,201 台、走行キロ数 81 千 k m、輸送人員 25 千人を見 込み、これらに必要な諸経費及び運送収入等を計上しました。

これにより、収益的収支については、自動車事業収益の 983,502 千円から消費税及び地方消費税分30,382 千円を控除し、自動車事業費用の 949,252 千円から消費税及び地方消費税分 15,167 千円を控除した結果、当年度純利益は 19,035 千円となります。

また、資本的収支については、収入は、企業債等を計上し、支出は、ノンステップ型路線バス3台の更新等に要する建設改良費と企業債償還金を計上しました。 その結果、資本的収入 46,684 千円、資本的支出は 108,155 千円となり、収支差引 61,471 千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。